

<全体分析>

試験時間 90 分

解答形式

記述式・論述式

分量・難易 (前年比較)

分量 (減少・やや減少・変化なし・やや増加・増加)

難易 (易化・やや易化・変化なし・やや難化・難化)

昨年度に比べ、論述式設問の字数が大幅に増加した (昨年度総計 490 字)。論述問題が複数出題されるので、時間内に仕上げるのに苦労するだろう。

出題の特徴や昨年との変更点

大問は4問構成で、時代別に出題されている。

記述式設問 26 問。論述式設問 8 問。

論述式設問の字数は、30 字以内から 240 字以内までで、総字数は 840 字となり、昨年と比べて大幅に増加した。

例年各大問で出題されていた、史料の読み取り論述問題が第 1 問・第 3 問で出題されなかった。

その他トピックス

<大問分析>

番号	出題形式	出題分野・テーマ	コメント (設問内容・答案作成上のポイントなど)	難易度
[1]	記述・論述 (25 点)	原始・古代の集 落・都城	問 4 は行基の仏教布教以外の活動、問 5 は勘解由使の役割に関する論述問題が出た。	標準
[2]	記述・論述 (25 点)	中世の銅・硫黄・ 銀取引	問 1「経塚」はやや難。問 3 は史料をもとに瑪瑙の調達元が変化した事情、問 4 は史料からわかる石見銀山で産出した銀による影響に関する論述問題。	やや難
[3]	記述・論述 (25 点)	唐津藩の城下・藩 主	問 2 は豊臣政権での国絵図・御前帳作成の軍事的意義、問 8 は指定語句形式で幕府の浪人対策に関する論述問題。	標準
[4]	記述・論述 (25 点)	A. 占領下の政治 B. 近現代の日 朝・日韓関係	問 4 は傾斜生産方式、問 9 は史料をもとに韓国の植民地化の過程に関する論述問題。 問 7・問 8 の史料空欄補充問題は、戸惑ったかもしれない。	標準

※難易度は5段階「易・やや易・標準・やや難・難」で、当該大学の全統模試入試ランキングを基準として判断しています。

<学習対策>

記述式設問については、教科書レベルの日本史用語を正確に理解するとともに、正しい漢字表記ができるように常日頃から学習しておく必要がある。史料問題が出題されるので、すくなくとも教科書掲載の頻出史料については読んで理解しておきたい。論述問題が 8 題出題され、総字数は 840 字となっている。時間内に答案を作成するためには、日頃から論述対策にきちんと取り組んでおかなければならない。